

『皆さまはじめまして』

皆さまはじめまして。貴澄隼人(たかすみはやと)です。初めてお会いする方も多いと思いますので少しだけ自己紹介をさせていただきますね。私は、2年前まで宝塚歌劇団で男役をしていました。この名前は芸名です。現在は大阪芸術大学の音楽学科で音楽や芸術について学びを深めています。今回は、その大阪芸術大学がご縁につながり、僭越ながらコラムを書かせていただく事になりました。お付き合いいただけましたら嬉しいです。今、世界中は新型コロナウイルス(COVID19)の影響を受けて、沢山のエンターテインメントがお休みになっていますね。このような状況になり、いつもの“当たり前、の有り難さに気がつきます。みんなで顔を合わせて一緒に歌うこと、楽器を演奏すること、踊ること、学校へ行くこと、お出かけをすること…普段当たり前のようになってきたこと。このページをご覧の皆さまは、きっと音楽が好きの方が多くはないでしょうか。私も気がつけばずっと生活と共に音楽がありました。遡ると、物心がついて初めて音楽に触れたのは、電子オルガンのグループレッスンを始めた4歳の頃でした。その頃は、ただ鍵盤やオルガンに付いているボタンを押すと色々な音が出て面白いな、みんながそれぞれ違うパートを弾いて一緒に合わせた時が何となく楽しいな。そんな風を感じていたことを覚えています。何か一つでも出来るようになると嬉しい。そんな小さな成功の積み重ねが、いつの間にか私を音楽の世界へと結びつけてくれたのだと思います。しかし、そこから現在に至るまで色々なことがありましたが、オンラインでのレッスンやリモートで合唱をすることは、一度も経験をしたことがありませんでした。時代の流れと共に音楽のスタイルが変化するように、生活のスタイルに合わせて新しい音楽の形が生まれますね。私もこれを機会に、宝塚のOGでリモート合唱“すみれの花咲く頃、”に挑戦をしてみました。近日中にYouTubeにて公開予定です。写真は自宅にて録音した時のもの。夢みらい音楽祭は延期になってしまいましたが、またいつの日か“みんなで手と手を取り合い、一緒に歌える日を楽しみにしています。また、お会いしましょう。

